

算数の学習について

1年生の算数の目標

- 数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てると共に、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

1年間の学習内容

	学習する教材	おもな学習内容
一 学 期	なかまづくりと かず なんばんめ いくつといくつ あわせて いくつ ふえると いくつ のこりは いくつ ちがいは いくつ 10より おおきいかず なんじ なんじはん	<ul style="list-style-type: none">● 絵絵を見ながら、いろいろな観点や条件に応じて、数を用いてなかまづくりをします。● 順序や位置を数で表すことを学習します。● 5は2と3, 1と4で5というように、1つの数をおはじきや算数ブロックを使って、いろいろな表し方でとらえられるようにします。● 算数ブロックなどを使って、たし算の意味を学習し、答えが10以内のたし算ができるようにします。● 算数ブロックなどを使って、ひき算の意味を学習し、ひかれる数が10以内のひき算の計算をします。● 20までの数の数え方、読み方、書き方、数の構成などを学習し、身の回りのものを数えたりして、数の概念を身につけます。● 何時、何時半の時刻を読めるようにし日常生活に生かす学習をします。

二 学 期	どちらが ながい	<ul style="list-style-type: none"> ● 長さを比べたり、身の回りのものではかったりします。また、身の回りのものの長さを、指やサインペンなどを単位として「いくつ分」で表すことを学習します。
	3つの かずの けいさん	<ul style="list-style-type: none"> ● 3つの数のたし算やひき算ができるようにします。 例) $2 + 4 + 1 \cdot 9 - 3 - 4 \cdot 10 - 3 + 2$
	どちらが おおい	<ul style="list-style-type: none"> ● かさの比較などを通して、かさの概念や測定について学習します。
	たしざん	<ul style="list-style-type: none"> ● 10のまとまりに着目しながら、一けたどうしのくり上がりのあるたし算を学習します。
	かたちあそび	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き箱や空き缶などを使って、いろいろなかたちを作ったりして、それぞれの仲間の似ているところを学習します。
	ひきざん	<ul style="list-style-type: none"> ● 10のまとまりに着目しながら、11～18から一けたの数をひく、繰り下がりひき算を学習します。
	どちらが ひろい	<ul style="list-style-type: none"> ● 広さの比較などを通して、広さの概念や測定について学習します。
三 学 期	20より おおきいかず	<ul style="list-style-type: none"> ● 100までの数の数え方、読み方、書き方を学習し、身の周りのものの数を数えることができるようにします。
	なんじなんぷん	<ul style="list-style-type: none"> ● 時刻を5分刻みで読むことを学習します。
	ずを つかって かんがえよう	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな場面で加減計算ができることを知り、図をもとにして計算ができるようにします。
	かたちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 身の回りにある形について学習します。

家庭へのお願い

- 日常生活の中で、時計を見たり時間を意識させて行動するよう働きかけてください。また、ものを数えたり、足したり、引いたり 比べたりする経験をたくさんさせてください。
- 算数は、家庭学習がとても大切です。繰り返し学習することによって、力が確実になります。返却されたプリント類は、目を通してください。基本的な知識が身についているか確認し励ましていただけると、子供も意欲的に学習できると思います。